

第43期 (2020年3月期) 第1四半期 ビジネスレポート

2019年4月1日 ▶▶▶ 2019年6月30日

AND 株式会社 **エーアンド・デイ**

東京証券取引所市場第一部上場 証券コード：7745

トップメッセージ

Top Message



代表取締役
執行役員社長 **森島 泰信**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第43期第1四半期連結累計期間の事業概況につきましてご報告いたします。

当第1四半期におきまして、当社グループは、新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な開発投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。

計測・計量機器事業において、日本では、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社ホロンの扱う半導体機器関連を中心に大きく売上を伸ばしたほか、熱中症計や湿度計といった商品が売上を伸ばしております。計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)については、パワートレインベンチ等好調な品目もあった一方で全般的には苦戦しました。

米州では、計量機器のうち金属検出器・ウェイトチェッカの売上が伸び悩んだことに加え、DSPシステムの受注も伸び悩んだことから売上、利益ともに減少しました。アジア・オセアニアでは、豪州において金属検出器・ウェイトチェッカが前連結会計年度から引き続き好調で現地通貨ベースでは売上を伸ばしたものの、前年同期と比べ円高傾向で推移したことや韓国で前年同期にあった特需が一段落したことから売上は減少しております。

医療・健康機器事業においては、日本では、医科向けの全自動血圧計が好調だったほか、家庭用血圧計の新製品が寄与して前年同期の売上を上回ったことに加え、原価率の改善により利益を増加させました。米州では、米国において大口案件の出荷が継続しているほか、カナダにおいても血圧計等の販売が好調であり売上を大きく伸ばしました。欧州では、ロシアにおける家庭用血圧計を中心に売上を伸ばし、経費も抑制できたことから利益も伸ばしました。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、10,690百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益は79百万円(前年同期は営業損失281百万円)、経常損失は22百万円(前年同期は経常損失269百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は211百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失235百万円)となりました。

第2四半期以降も引き続き、今期の重点施策である、技術イノベーションと新規市場の開拓、新規顧客の獲得に尽力し、試験機やシステム品等の製品標準化、海外生産の強化により原価の一層の低減に努めます。また、より効果的な研究開発投資の推進と、販売費及び一般管理費の効率的な活用に取り組んでまいります。

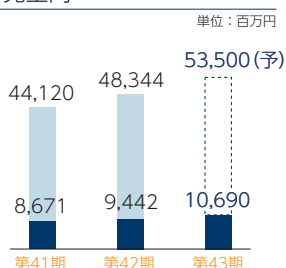
株主の皆様には、当社グループに変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)

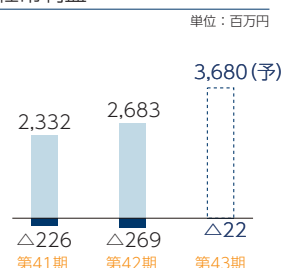
■ 通期
■ 第1四半期累計

Financial highlights

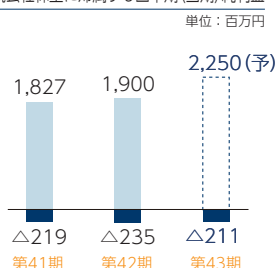
売上高



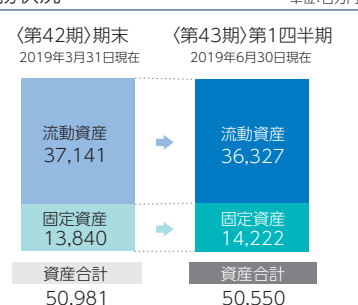
経常利益



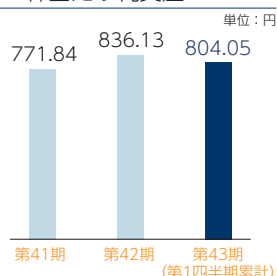
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



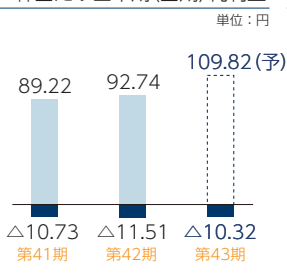
財務状況



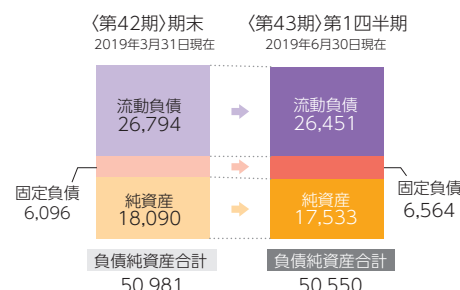
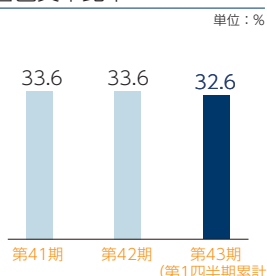
1株当たり純資産



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率

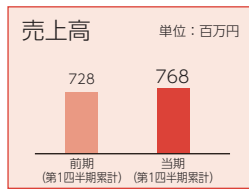


医療・健康機器事業 39.9%

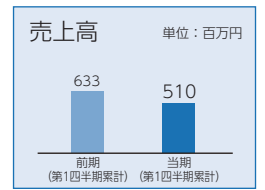
計測・計量機器事業 60.1%

医療機器 7.2%

計測機器 4.8%



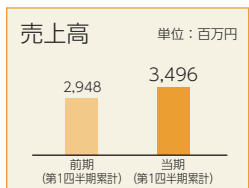
国内では医科向け全自動血圧計が好調。



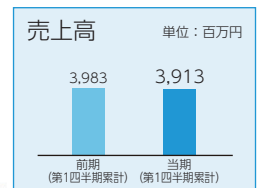
引張圧縮試験機が苦戦し、売上が減少。

健康機器 32.7%

計量機器 36.6%



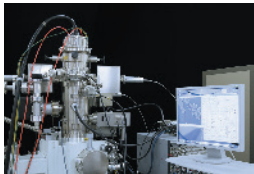
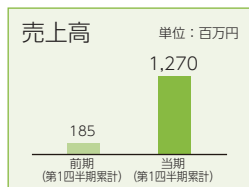
国内では家庭用血圧計の新製品が売上増加に寄与。海外はロシアおよび米国、カナダを中心に売上は好調に推移。



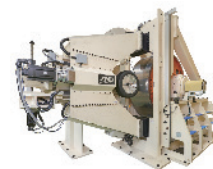
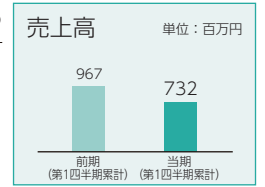
国内はインジケータ、熱中症計を中心に堅調に推移。一方海外は、アジア・オセアニアのウェイトチェッカ・金属検出器において、豪州では現地通貨ベースでは伸長するも前年同期比円高傾向に推移したこと、加えて韓国での特需が一段落したことから全体で微減。

半導体関連 11.9%

DSP機器 6.8%



子会社ホロンの扱う半導体機器関連の売上が大幅増。



パワートレインベンチ等好調な品目があった一方で全般的に苦戦し、売上は減少。

A&Dトピックス

大きな製品に対応した高出力X線検査機「AD-4991-3530」新発売！

当社が食品工場の異物検査ライン向けに製造・販売しているX線検査機「AD-4991シリーズ」に、大きな製品に対応可能な高出力モデル「AD-4991-3530」が新たに加わりました。

「AD-4991シリーズ」は、スリムデザインの省スペース設計を特長とし、1,000種類の検査対象製品を画像ともに登録できます。見やすい15インチカラータッチパネルが標準装備されているほか、USBメモリへのレポート出力、オートセットの簡単操作など“現場で誰でも操作できる”をコンセプトとして設計されています。

シリーズのなかでも大きな製品に対応可能なモデルとなる「AD-4991-3530」の発売により、当社X線検査機のラインナップがより充実することになります。

「AD-4991-3530」の主な特長

- ・ベルト幅350mm、X線出力300W
- ・最大5kgまでの製品に対応
- ・ベルト速度10-45m/min
- ・包装フィルムが比較的厚手の製品も検査可能
- ・製品を重ねて検査することも可能

